

命の大切さ伝える

事故犠牲者の遺品展示

桜井高



【桜井】

事故や犯罪で犠牲になった人の遺品や写真を等身大のパネルと共に紹介し、命の大切さを訴える「生命のメッセージ展」が、桜井市桜井の県立桜井高校会議室で開かれている。写真

真。18日には一般にも公開される。「メッセージ」と呼ばれる30の人型パネルが並ぶ。犠牲者の経歴や遭遇した事件・事故内容などを紹介し、足元には「生きた靴証」として生前の靴

が置かれている。

交通事故の無い社会を目指すNPO法人「KENTO」の児島早苗代表(68)「奈良市」が、生徒らにメッセージ展の趣旨などを説明すると、生徒らは熱心に見入り、感極まって涙する姿も。3年の寄能彩未さん(18)は「命の大切さ、重さを改めて感じた。1人の軽はずみな行動で尊い命が奪われていくこと

は本当に許せない。この人たちの分まで精いっぱい生きようと思った」と話していた。

展示最終日の21日には、2000年5月に交通事故で長男を亡くした児島代表が「生命を越すものはない」と題し、同校で講演する。

【山本和良】